



2020年8月7日

各位

会社名 株式会社フルキャストホールディングス
 代表者名 代表取締役社長CEO 坂巻一樹
 (コード番号 4848 東証第一部)
 問い合わせ先 財務IR部長 朝武康臣
 電話番号 03-4530-4830

**2020年12月期連結業績予想の修正及び
 剰余金の配当（中間配当）並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ**

2020年5月15日に公表いたしました「2020年12月期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」において、未定としておりました2020年12月期通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正することといたしました。

また、当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、同様に未定としておりました2020年6月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議し、加えて、通期連結業績予想の修正に伴い2020年12月期期末配当予想を、下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期連結業績予想の修正について

1) 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	41,600	5,700	5,680	3,845	104.42
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
ご参考：前期実績 (2019年12月期)	44,479	7,224	7,064	4,644	124.59

2) 修正の理由

2020年5月15日に取り下げ、未定としていた、2020年12月期通期連結業績予想を公表いたします。

2020年12月期通期連結業績予想は、2020年12月期上期実績に加え、2020年12月期下期業績は緊急事態宣言解除に伴い、主力取引業界である物流業、製造業において顧客企業の需要回復が見込まれますが、感染第二波への警戒により、また、通常であれば第3四半期にピークの需要を迎えるスタジアム関連、イベント関連及びサービス、観光関連の売上がほぼ見込めないことから、当社グループにおける今下期の推移は、第3四半期を底とし、期末月に向けて緩やかに回復していく前提としております。

なお、緊急事態宣言の再発出は想定しておりません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となり得る可能性がございます。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月15日公表)	前期実績 (2019年12月期中間配当)
基準日	2020年6月30日	同左	2019年6月30日
1株当たり配当金	19円00銭	—	19円00銭
配当金の総額	697百万円	—	706百万円
効力発生日	2020年9月1日	—	2019年9月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、百万円未満を四捨五入して表示しています。

2) 2020年12月期期末配当予想の修正の内容

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年5月15日発表)	—	—	—
今回修正予想		22.00	41.00
当期実績	19.00		
前期実績 (2019年12月期)	19.00	21.00	40.00

3) 中間配当及び期末配当予想修正の理由

当社は、総還元性向 50%を目標とし、株主への利益還元の充実化を図る方針であります。

2020年12月期の中間配当につきましては、未定としておりましたが、上記の基本方針ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に勘案し、1株につき19円の中間配当を実施いたします。

期末配当につきましては、同様に未定としておりましたが、前述の2020年12月期通期連結業績予想の修正を踏まえ、配当予想を1株当たり22円に修正いたします。これにより、中間配当と合わせた当期の年間配当金予想は前期比1円増配となる、1株当たり41円となる予定です。

以 上